
小さな恋

彰

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小さな恋

【Nコード】

N9442D

【作者名】

彰

【あらすじ】

一期一会の恋の話です。僕の名前は彰。春休みの昼下がりの図書館で僕は彼女に出会った

（前書き）

僕が図書館で会って雑談した女性に恋をした話です。
けれど、一期一会の悲しき恋です

もう、恋は出来ないと思っていた

けれど僕の中でただ1回だけ会話をし

少しの時間を共に過ごした女性に恋をした

それまでの僕は愛した人に裏切られ自己嫌悪していた

そんな1回だけで本当に馬鹿な奴だ・・・

会話をしている時はこいつとは一期一会だと思って言いたい事や

どうでもいい事を雑談していたそれに互いに何処の生まれで何処の

何々さん

なんて明かさなかったそれなのに1回会話してただけでこいつとは
友達になれると

会話の中で何度も思ってたけれど本当に一期一会だった

会話をした場所に足を踏み入れてももう、彼女の姿は何処にもない
翌日になって昨日会話した彼女の事を何度も思い出してる僕が其処
にいた

もう、会えなくなってもきつと何度も思い出すだろう

1回だけの会話がこんなにも楽しかった事はない

彼女は僕の事を『天の邪鬼』と何度も僕の性格を少し笑った顔で言
った

彼女にとっては味のない雑談に過ぎなかっただろう

それでも嬉しかった僕が気にしてその場を

後にしようとした時、『気にせずもう少し居ればいいじゃん』

と僕に言ってくれた時、僕は少し嬉しかった

けれど本当に一期一会だった・・・

同じ曜日に同じ時間に同じ場所に足を踏み入れても

もう、会えないだろう・・・

会えたとしても其処には彼氏もいて輝いてる彼女の姿が

居るだろう・・・その時、僕は彼女の相談役になれたらなりたい

こんな臆病者、誰も好きになつてもらいたくない

本当は彼女が誰を好きでも誰を嫌いでもただ又、話したい色んな事。

彼女が『天の邪鬼』つて言つて僕に笑いかけてくれるだけでいい又、会えたら彼女の事をいろいろ知りたいし自分の事も

あんまり恥ずかしがらずに話したい

名前と連絡先も知らない彼女と再会して互いの心の内を語りたいそんな風に強く思ったのは最初で最後だろう？

何度も自分に言い聞かせた一期一会だったから話せた

一期一会だったから又、会いたいって思えたんだ

この先も心の中で彼女が膨らんでもそれでいい

ただ僕にとつては小さな恋なのだから

本当に馬鹿な自分だつて思うけど

これでもいい友達にはなれたと思つてる

それでももう、会う事も話す事ももうないだろう

ただもう一度会つた時、あの時の雑談は楽しかったよ

つて言えたらきつと少しだけ僕の本音を伝えられるだろう

何で人間つて他人からこんなな気持ちを与えられるのだろうか？

何時でも僕はそんなことばかり考えて時に他人を嫌つたり

時に他人を強く求めたりする本当に僕は曖昧で不器用な生き物だ

と思う

これから先、僕には忍耐力を強く要する出来事が次々と僕に襲いかかつてくるだろう

その分、自己嫌悪したり、愚痴を言つたり、弱音を何度も言つたりするだろう

けれど、孤独なのは一人じゃないつて何度も思い返すだろう

僕はその分、自分に強くななくてはと何度も言い聞かせるだろう

誰かに縋りつくのはただの寂しがり屋だそんなんじや強くなれない

誰かに強くしてもらつてゐるんじやなく

(後書き)

つまんなかったでしょ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9442d/>

小さな恋

2010年10月28日08時02分発行